

# 我が国におけるコメ輸出拡大の可能性と今後の展望

国際経営学科 4 年 皆見 俊貴

## 1. はじめに

現在、世界経済は自由貿易を進める動きを見せている。自由貿易によって受ける恩恵も多いが、リスクも多くある。そのリスクの典型がまさに日本の農産物だ。特に日本文化を象徴するコメは手堅く守られており、国外の輸入米の値段に約 800%もの関税を課すことにより、何とか競争力を保っている。現在、議論になっている TPP に日本が参加するとなるとこの関税が下がり、相対的に日本のコメは競争力を失ってしまい、農家は打撃を受けてしまう。しかし、発想を逆転させれば輸出の際の関税も下がるわけだ。これは、日本の米を世界に発信する大きなチャンスになるかもしれない。本報告ではこの日本のコメの輸出が秘める可能性と展望について検討する。

## 2. コメ輸出の現状と可能性

国際的に日本の米は安全性や、高品質という面で評価が高い。特に中国の小売店などでは現地のコメの 10 倍近い値段で販売されている。グローバル化により日本のコメが認知され評価され始めた結果と言えるだろう。図 1 を見ると年々その輸出量が増加していることがわかる。

図 1. 我が国におけるコメの輸出量の推移



出典：農林水産省ホームページ

また、輸出先上位 5 か国はオーストラリア以外すべてアジアであり、日本の米が進出していない国がまだ多くあることがわかる（表 1）。TPP 参加予定国

のアメリカやメキシコ、カナダなどにはまだあまり日本米が進出していないのでチャンスともいえる。

表 1. 主要輸出国 TOP5

	輸出国
1位	香港
2位	シンガポール
3位	台湾
4位	オーストラリア
5位	中国

出典：農林水産省ホームページ

### 3. 今後の展望、～大分県、別府市でできること～

関税が下がり価格が落ちても日本の米のブランド力を保ちながらいかに、外国人にプロモーションしていくかが課題であると言える。

具体的なプロモーション例を挙げると寿司をより積極的に売り込むことがよい。寿司は日本を代表する高級料理であり、海外でも評価が高い。現在、外国人観光客によるインバウンド需要が注目を集めている。日本に観光に来た外国人に日本の米を使った寿司を食べて、味を知ってもらおう。そして好きになってもらう。その味をもう一度食べたいと思う外国人が増えれば現地に日本料理店を出店しさらに寿司をプロモーションしていくと良いだろう。そうすれば日本米の需要増にもつながるはずだ。

大分県別府市は留学生や外国人観光客が非常に多い。本夢米棚田プロジェクトで生産したコメと大分の特産物である関アジ関サバを組み合わせた寿司を売り込むこともできる。そう考えると大分の別府は日本米のブランドイメージ構築にかなり適した環境が揃っていると言える。

先週の日本経済新聞にも寿司による輸出戦略が取り上げられており今後、米輸出拡大に大きく貢献するのではないかと筆者は考えている。

#### 4. まとめ

今までの政策では日本の農業をいかに守るかに重点が置かれていた。これからグローバル化が加速する世の中では、日本の農業をいかに強くするかに重点を置き直し政策を行うべきだと考える。TPPやFTAをはじめとする自由貿易の流れが日本の農業にとっての脅威ではなくチャンスに変えるべく日本のコメが先陣を切って輸出を促進して行ってほしいと懇願している。

## 我が国におけるコメ輸出拡大の可能性と今後の展望

国際経営学部3年  
皆見俊貴

### 1. はじめに

- 現在、世界経済は自由貿易を進める動きを見せている。
- 自由貿易によって受ける恩恵も多いが、リスクも多くある。
- 典型がまさに日本の農産物
- 特にコメは約800%もの関税により守られている。
- 関税が無ければ日本の農業とコメは崩壊してしまう。

### 1. はじめに

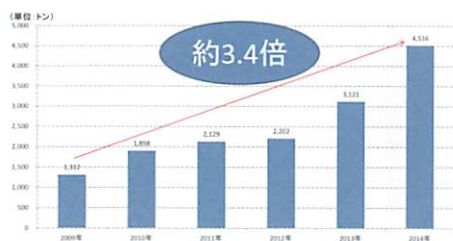
- しかし、発想を逆転させれば輸出の際の関税も下がるわけだ。
- 日本の米を世界に発信する大きなチャンス
- 本報告ではこの日本のコメの輸出が秘める可能性と展望について検討する。

### 2. コメ輸出の現状と可能性

- 国際的に日本の米は安全性や、高品質という面で評価が高い
- 特に中国の小売店などでは現地のコメの10倍近い値段で販売されている。
- グローバル化により日本のコメが認知され評価され始めた結果と言えるだろう

### 2. コメ輸出の現状と可能性

- 年々輸出量が増加している。



### 2. コメ輸出の現状と可能性

- 現在のコメ輸出先主要国はほとんどアジア
- TPP参加予定国のアメリカやメキシコ、カナダなどに日本米進出のチャンス

輸出国	
1位	香港
2位	シンガポール
3位	台湾
4位	オーストラリア
5位	中国

【TPP参加予定国】
オーストラリア、ブルネイ、 <u>カナダ</u> 、チリ、日本、マレーシア、 <u>メキシコ</u> 、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、 <u>アメリカ</u> 、ベトナム

### 3. 今後の展望

- ① 関税が下がり価格が落ちて日本コメのブランド力を保つ
- ② いかに関外人にプロモーションしていくか

この2点が課題である

プロモーション例として寿司を使って日本のコメ輸出戦略を考察！！

### 3. 今後の展望

- 現在、外国人観光客によるインバウンド需要が注目を集めている。
- 日本に観光に来た外国人に日本の米を使った寿司を食べて、味を知ってもらう。
- その味をもう一度食べたいと思う外国人が増えれば現地に日本料理店を出店しさらに寿司をプロモーション
- 日本米の需要増にもつながる

### 3. 今後の展望

- 日本の寿司のswot分析



### ～大分県、別府市でできること～

- 大分県別府市は留学生や外国人観光客が非常に多い
- 本夢米棚田プロジェクトのコメと大分の特産物、関アジ関サバを組み合わせた寿司
- この寿司を留学生、外国人に食べてもらいプロモーションを行う。
- 大分の別府は日本米のブランドイメージ構築にかなり適した環境が揃っている

### 3. 今後の展望

- 日経新聞にも寿司で海外で日本文化を売り込む戦略が取り上げられていた。
- かなり、寿司はホットなネタであると言える。



### 4. まとめ

- 今までの政策では日本の農業をいかに守るかに重点が置かれていた。これからグローバル化が加速する世の中では、日本の農業をいかに強くするかに重点を置き直し政策を行うべきだと考える。TPPやFTAをはじめとする自由貿易の流れが日本の農業にとっての脅威ではなくチャンスに変えるべく日本のコメが先陣を切って輸出を促進して欲しいと懇願している。